八碁連だより

１２月号　　第３２８号

発行日　平成３０年１２月１日（土）
発行所　八王子囲碁連盟
住　所　八王子市大楽寺４５６－１９
電　話　042-624-5249
発行者　吉澤　實
編集者　木河　専

銀杏並木（近郊 11/14）
http://yasu1120.la.coocan.jp/hatigoren.html

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

最強の AI 囲碁の引退に思う

石川囲碁同好会　会長　水野義嗣

約２年半前、米国 Google 社の傘下の「Deep Mind」社が開発した AI（人口知能）囲碁ソフトの「Alpha Go」が、韓国のトップ棋士に４勝１敗の成績をあげた時、囲碁界では大騒ぎになりました。その後、囲碁ソフト名を伏せた対局も含め、中国や韓国の最強の棋士及び井山九段を含む日本のトップ棋士にも勝利し、ついに 60 連勝したとの情報が洩れ伝えられました。最終的には世界最強の中国の柯潔棋士に対しても３連勝した直後、この開発チームは棋士との対局から引退を宣言しました。それから遅れること１年後に、日本の AI 囲碁ソフト「Zen」がプロ棋士対局で圧倒的な勝利をするようになり、「Alpha Go」にほぼ追いついたので、「Zen」の開発チームもプロ棋士対局から引退させると発表しました。

それでは何故に最強の AI 囲碁ソフトが世界のトップ棋士との対局から次々と引退するのか、疑問が残ってしまいます。これらの引退に対するいろいろな意見がありますが、私なりに次のように考えています。AI 囲碁ソフトは、今後も深層学習と CPU 処理の高速化で桁違いに強くなり、このことが人間から囲碁の楽しみを奪うのでないかと心配されます。今年度の日本棋院の名人戦は井山名人と張九段が今月中第四~六局の大熱戦が展開されています。この対局の解説はインターネット中継と AI 囲碁ソフト（市販のソフト「棋神」）による一手ごとの対局者の優位差が表示されていました。この優位差が大きくなっても何度も大逆転が発生し、プロ棋士の対局ならではの醍醐味や面白味を感じさせてくれました。特に AI が推奨した手は解説者にも理解できなかったようですが、井山名人の指し手が AI の読みと一致した時は、解説会場の中で大騒ぎになっていました。今後、AI はプロ棋士に勝つことが目的ではなく、囲碁に対する興味を増大させる道具になることが、AI 囲碁ソフトの価値を高めると思います。

いづれにしても、AI 囲碁ソフトは現在でも人間より数万から数十万手も多く読むことにより、一手の価値

とかタイミング判断等の多様性等に気付かせてくれ、プロ棋士はもちろんのこと我々囲碁愛好家に対しても、大きな刺激と棋譜分析等で実力アップに貢献してくれることを期待しています。

◆　第６８回　市民文化祭囲碁大会結果　◆

来賓「八王子文化連盟理事長：白澤宏規様」、「八王子市市民活動推進課長：山野井寛之様」、「東浅川保健福祉センター館長：廣瀬重美様」のご出席、さらにまた八碁連 30 周年記念を祝して「八王子市長：石森孝志様」も駆けつけてくださり八王子市民文化祭囲碁大会が今年も 11/3（祝）盛大に開催されました。
当日は小さな小学生から高齢の方まで幅広い方々の参加を頂き夕方まで熱戦が繰り広げられました。
また今年は昼休みに邦楽演奏（琴、尺八）の出し物を用意し午前中の熱戦から会場の空気が一転する楽しいひと時もありました。
大会開催に際しては各同好会ならびに関係者多数のご協力を頂きありがとうございました。

第６８回市民文化祭囲碁大会の結果

クラス	入賞者				参加者数：128名		
		氏名	段級位	所属		会員	一般
Ｓクラス 八段～六段	優　勝：石田繁行		七段→八段	一般	18名	16名	2名
	準優勝：中邑　豊		七段	恩方			
	三　位：池田正三		六段	大和田			
Ａクラス 六段～五段	優　勝：林　浩明		六段→六段Ａ	一般	26名	16名	10名
	準優勝：内田昌治		五段	浅川			
	三　位：福井幸夫		五段	恩方			
Ｂクラス 四段～三段	優　勝：保木隆史		三段→四段	一般	22名	11名	11名
	準優勝：斎藤隆男		三段	一般			
	三　位：棚原英治		四段Ａ	元八			
Ｃクラス 二段～１級	優　勝：田中哲朗		初段→二段	一般	18名	12名	6名
	準優勝：東　征矢		二段	一般			
	三　位：斉田五博		二段	一般			
Ｄクラス １級～４級	優　勝：佐藤　昭		３級→２級	長房	22名	16名	6名
	準優勝：中村順亮		３級	長房			
	三　位：馬場楓真		１級	子供			
Ｅクラス ４級～15級	優　勝：藤原幹治		７級→６級	恩方	22名	16名	6名
	準優勝：服部秀子		５級	恩方			
	三　位：箕輪紀雄		４級	恩方			

（市民文化祭囲碁大会の様子）

【対局風景】

【昼休み出し物：邦楽演奏】

◆　臨時総会開催　◆

11/6(火)　全同好会のご出席を頂き臨時総会が開催されました。

主な議事

1) 八碁連の目的改定（規約第３条）

⇒ 正式承認されました。

改定後の内容は後述の項を参照ください。

2) 内規「八王子囲碁連盟高齢者会員表彰規定」を

「八王子囲碁連盟会員傘寿表彰規定」へと呼称の変更

⇒ 異議なく了承されました。

3) 八碁連エンブレム選定

⇒ 事前投票で残った上位２作品の決戦投票を

当日実施し、八碁連エンブレムが決定いたしました。

デザイン詳細等は後述の項を参照ください。

4) 自由討議（八碁連理事の業務負荷軽減や各同好会の状況など）

※1), 2) 項は 8/3 の同好会会長会にて議論頂いておりましたが、規約の正式改定が必要であり今回の臨時総会議案となっております。

※当日の議事録は各同好会に送付されております。

◆　八碁連の目的（規約３条）改定　◆

前述の 11/6 の臨時総会で八碁連の目的（規約３条）は以下のように改定されました。

「八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。」

（改定の背景）高齢化に伴う会員減少等により囲碁の衰退が危惧されるなか、会員の親睦や健康維持に寄与する目的の他、囲碁の啓蒙・普及にも努めていくことを明記した。

※八碁連だよりトップページに掲載の目的も新しい内容に置き換えました。

◆　八碁連エンブレム　◆

八碁連エンブレムが決まる

エンブレムは紋章ともいわれ、視覚によって団体の格式とか権威を表す装飾的なマークのことです。
団体のアイデンティティを形や色を使うことによって
アピールできるのがエンブレムです。
八碁連創立 30 周年を記念し、囲碁を象徴しその普及を目指して、
共感され親しまれるエンブレムを公募しました。
その結果、次のデザインが地区同好会長や理事の投票によって
採用されました。

このエンブレムをデザインされたのは、八王子市大和田町に
在住する山下ゆうり氏です。山下氏は「銀杏で八王子らしさを
色や文字で囲碁の高尚さや親しみやすさを表現した」と述べておられます。
八王子市の象徴である銀杏の黄、碁石の白黒そして、碁盤の緑を基調とした色合いが
映えるデザインとなっています。

このエンブレムの著作権は八碁連に帰属します。八碁連本部、地区同好会、各部、各種大会の
印刷物に自由に使うことができます。デザインのファイルは理事会が保管しています。
使用したいときは請求してください。

※八碁連だより 12 月号よりトップページにエンブレムを入れました。
※八碁連ＨＰ（http://yasu1120.la.coocan.jp/hatigoren.html）には八碁連だよりのカラー版が掲載されておりエンブレムのカラーはこちらで見ることが出来ますのでご覧ください。

日本棋院八碁連支部コーナー

常任幹事　　南　正一郎

朗報です!!

当支部が平成30年度(平成29年10月～平成30年9月)の「全国支部会員増ベスト40」の第5位にランクされました。この期間に10名の方が入会されました。ありがとうございました。
日本棋院からは感謝とその報奨として、2名の棋士が派遣されます。
支部では指導碁を計画して、皆さんに楽しんで頂こうと考えています。次年度もこのような楽しみがありますように、皆さんの入会を希望します。気軽にご連絡下さい。

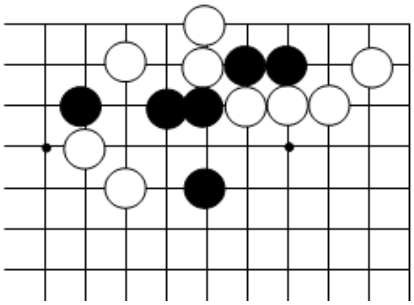
支部の運営は日本棋院からの普及協力金で運営していますので、会費は要りません。
既に日本棋院の会員で、支部に登録されておられない方も是非ご連絡下さい。移行手続きを致します。

第２０回棋聖大賞囲碁大会のご案内

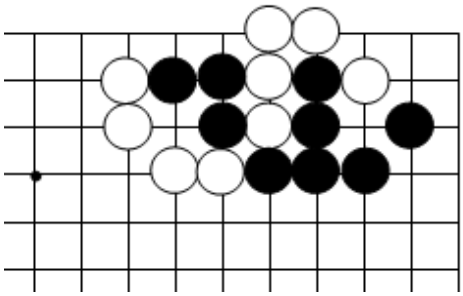
開催日　　平成３１年１月２０日(日)　午前９時１０分受付開始
場　所　　東浅川保健福祉センター
参加者　　八碁連技術顧問、八碁連役員、業務委嘱者、研修部事務長　左記は招待。
　　地区囲碁同好会会長ほか１名、及び八碁連七段以上の会員。
連　絡　　参加該当者には、別途案内を差し上げます。

【手筋・詰碁】

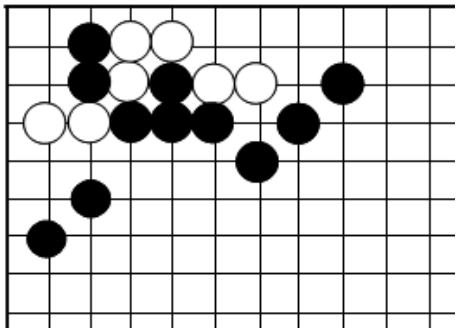
問題１　　黒先



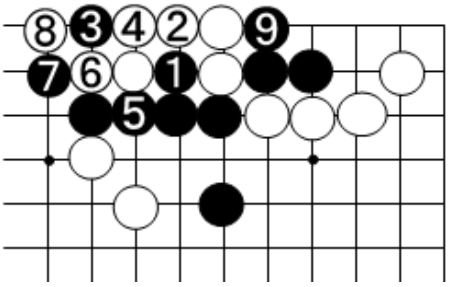
問題２　　黒先



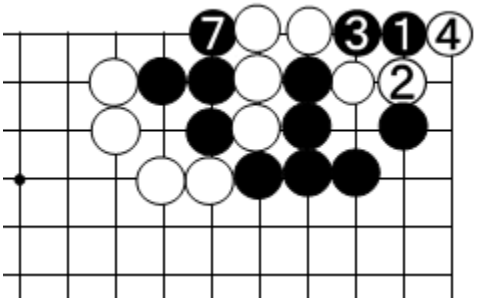
問題３　　黒先



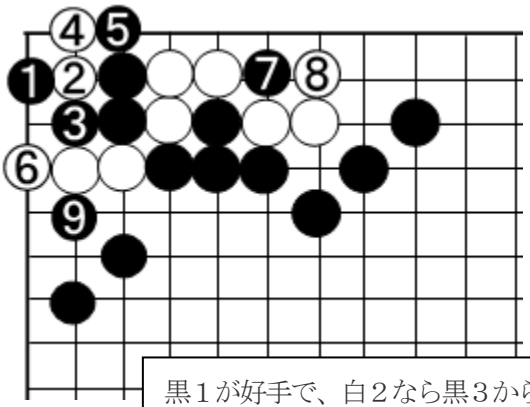
問題１の正解



問題２の正解



問題３の正解



黒１が好手で、白２なら黒３から９まで、攻合い黒勝ち。